

アトリエ 琉游舎 だより 55号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/
琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

2019年6月19日発行



- ・今年少雨だと言われています。気象庁のデータを見ると塩谷の観測地点では1月の降水量は0mm（平年35.5mm）2月も平年の88%、3月は92%となっており確かに冬から春にかけては数字が少雨であることを示しています。農家は雪解け水が少なく田圃の水量を心配したことでしょう。
- ・ところが4月は平年の99%、5月は106%です。4月に種を蒔き5月に苗を植えてから、雨の少ない毎日に、やきもきしながら畑を見回り水やりをしていましたが、何のことはない平年通りの降雨量だったことをデータが示しています。
- ・確かに土は乾いて、苗もしんなり元気がなかったので、せっせとじょうろで畑の水やりをしていたのですが、無駄な作業、勘違いだったのでしょうか。
- ・実際の印象と統計データの隔たりをもっとよく見ると、実は4月は10日と30日の2日間で月全体の50%以上が、5月に至っては21日の1日間で月全体の80%の雨が降っていたのです。
- ・1ヶ月単位のデータを信じると4、5月は平年並みかそれ以上の降雨量ですが、実際の肌感覚ではほとんど早天の日々。5月21日に降った雨はまさしく早天の慈雨でした。
- ・作物は1ヶ月単位では生きていません。毎日毎朝毎晩の単位で生きているのでしょうか。朝霜が降りればそれで命が尽きる作物もあれば、夜中の強風で根元から折れてしまう苗もあります。データで一括りにされると、どうしても肌感覚と合わないことが出てきます。そういうときは、作物たちと同じように、毎日毎朝毎晩の肌感覚を大事にしていきたいと思います。
- ・ところで6月に入り梅雨の走りかと思えば、一気に本格的な梅雨に突入してしまいました。6月上旬の降雨量は86mm（前年200%）。早天の慈雨だった雨は山背が吹いていつの間にか低温の雨になってしまい作物の生育が心配です。「ヒデリノトキハナミダヲナガシ サムサノナツハオロオロアルキ」少しは「雨ニモマケズ」の気持ちが分かるようになった、琉游舎農園の3年目です。

読書会

6月25日(火) 13時半から
7月9日(火)

詩話会

7月13日(土)
13時半から

映画会

毎週木曜日
13時半から

写経会

7月14日(日)
7月は第二日曜 13時半から

居酒屋の会

6月25日(火)
16時から

| | | | |
|------|------|------------------|---|
| 6/20 | 13時半 | 陽は昇る (89分) | マルセル・カルネ監督、ジャン・ギャバン主演。嫉妬心から殺人を犯した男が警察に包囲された状況の中で過去を回想しながらやがて自ら命を断つまでを描いた作品。 |
| 6/27 | 13時半 | 哀愁の湖 (110分) | 夫の愛を独占するために、湖で夫の弟を見殺しにしたり、階段から落ちて子供を流産させたりした女の異常心理を描いた作品。 |
| 7/4 | 13時半 | 霧の波止場 (90分) | マルセル・カルネ監督、ジャン・ギャバン主演。脱走兵のジャンは港町ルアーブルでネリーという女に出会う。つかの間の恋とへ劇的な結末の物語。 |
| 7/11 | 13時半 | イヴの総て (138分) | アカデミー賞作品賞受賞作。ベテラン女優の付き人から人気女優になるまで、新人女優の巧妙な計略とショービジネスの光と影を描いた傑作。 |
| 7/18 | 13時半 | 花咲ける騎士道 (100分) | ジーナ・ロロブリジータ主演。ジブシー娘に予言されて入隊したファンファンは王女と会うために、お城に忍び込むが、、、フランス剣戟映画の傑作。 |
| 7/25 | 13時半 | ジョニー・ベリンダ (102分) | アカデミー賞主演女優賞受賞作。カナダの小さな島に赴任してきた医者、村の聾啞の娘に手話を教える。彼女は次第に明るくなり父親も喜ぶが、、、 |

ありがとう

「私を探し出してくれてありがとう」
 中学の還暦記念学年同窓会の受付で四五年ぶりに会った同級生に言われた言葉です。人間六一年も馬齢を重ねていけば数え切れない「ありがとう」のやりとりをしているはずですが、この時の「ありがとう」は私の中でも貴重な「ありがとう」の一つです。

還暦記念同窓会というおめでたい会の開催をすべてのクラスメイトに知らせたい、案内状が宛先不明で戻ってくるのが一通もないようにしたい、と決めてもう一人の女性幹事と送付リスト作りを精を出した結果、ひとりを除いて全ての案内状を戻ることなく送り届けることができました。

送り先が分からなかったその女性性は三年の途中に転校してきました。養護園からの通学で卒業後は看護学校に行ったことは覚えていましたが、一緒に過ごした時間が半年あまりだったこともあり、その後親しく連絡を取り合う仲間もなく、いつの間にか数年おきのクラス会の時も探し出す努力を端から放棄していました。

四五年前は私達三年三組に存在していたのに、現在の私達三年三組の中には存在していないことになってしまいました。これではいけない。養護園や卒業の時の手書きの連絡先メモはとうの昔にあっていたので、万策尽きているなか、ダメ元でメモの住所を頼りにネットで地図と電話帳を検索していると、偶然にも同じ名字の家にいき当たりました。ままよとばかりにオレオレ詐欺の電話と間違えられるのを覚悟で電話をしたところ、その方は親戚筋の方で、彼女の連絡先をいともあっさり教えてくれたのです。

彼女は結婚されて北海道で看護師さんをしていました。その北海道からわざわざ一泊二日で宇都宮の会場までやって来てくれたのです。お礼を言わなければいけないのは私達の方です。そして今まであなたに連絡しなかった怠慢を謝らなければなりません。

私達が「あなたを探し出した」のではなく、あなたが「私達を探し出して」くれたのです。「私達があなたに是非来てもらいたい」という気持ちをあなたが探し出してくれたのです。

「私達の気持ちを探してくれてありがとう」
 本欄初のちよつといひ話はここまで。ところでネットを駆使すれば、人の行方も知ることが可能だったのです。これでは個人情報保護法の意味がありません。そもそも個人の情報を一番持っているのは国や市町村です。お上が民から徴収するお金をオレオレ詐欺に横取りされないために個人情報国が独占する必要があるので、だから作った法律。ではないですよね。まあ私は洩れて困る個人情報も詐欺に献上する資産もないのでどちらでもいいのですが。

頭隠して尻隠さず

不正や過ちの隠し事はいつかは必ずしつぽを出すはず。説得は丸め込むことの言い換えです。虚偽はばれないかぎり虚偽とはなりません。厚顔無恥・鉄面皮も押し通せばリーダーシップにみえてきます。事実を再編集すると都合のいい真実を作り出すことができます。撤回すればなかったことになります。「不安を払拭できませんでした」は「事実を隠蔽できた」と同じ意味です。事実ではなく事実の印象操作が重要です。「反省して陳謝する」は「俺は悪くない、部下のへまに立場上頭を下げただけ」と聞こえます。

不正や過ちの隠し事がばれそうなき、人は言い訳をして何とかその場を凌ごうとします。でも悲しいかな大概の人は言い訳をするその顔や口ぶりが、すでに「済みません。皆さんの思っているとおり、私が悪うございました」と語っているのです。だから不幸なことにはしつぽを出してしまつたら、第三者にそのしつぽを引きずり回される前に自ら頭を出して謝罪することです。そして解決策を提示し過ちを清算し再建のための計画を公表することです。私はこれが「リスクマネジメント」だと思っていました。しかしそれがリスクだと認識するからマネジメントするものなのですが、周りがリスクだと思っても当事者がそう思わなければそもそもリスクはリスクとして存在しないことになってしまいます。

私はこの日本はリスクの一切存在しない素晴らしい国だと思っています。尻も頭も全てさらけ出しているはずなのにその様な事実は全くないと言い張るノーリスクの国日本。年金だけでは老後生活できないリスクも日本の船が攻撃を受けるリスクも、それは国民だけがリスクと思っただけで、権力も頭脳もお金もなにもかも持っている人たちに「ノーリスク」と言われると、いつの間にかそんなリスクはどこにもないと信じ込まされてしまいます。本当かなと思ってもありとあらゆる手練手管、説得術、はぐらかし術、催眠術、幻術、めくらまし、恫喝、強弁、開き直りで迫られると、私だけでなくても「まあ、いいか」となってしまう。

日本は将来にわたって生活も国の安全も経済成長もノーリスクの国なのだとする催眠術の中で眠っていた方が楽なのですから。このままノーリスクの中で眠っていたらいいな。と心から思います。次に自分が生きている間だけでもそうであればいいなと思うでしょう。死んでしまえば後は野となれ山となれです。その様な心情を無責任とか人でなしと非難することはやめましょう。それが日本人であり日本国なのです。身にかかるリスクは頭を安全な処に隠してしつぽをふりふりしてやり過ぎましょう。